



町立虎杖小学校開校120周年

新たな歴史へ「地域とともに」誓う



情報ノート

明治35年(1902年)に敷生簡易教育所として設置された現白老町立虎杖小学校(関東英政校長、児童34人)の開校120周年記念式典が11月12日、同校体育館で催されました。児童と教職員、地域住民、父母らが、刻んだ歴史の重みを振り返り、同校の教育を支えた人々に感謝しました。

主催者の同記念事業協賛会の広地紀彰会長は「同小はこの地域のシンボルそのもの。この価値をあらためて振り返り次につなげましょう」とあいさつ。戸田安彦町長は祝辞で、同校出身の根本悠楓北海道日本ハムファイターズ選手の努力を挙げ「途中であきらめることなく、夢に向かって歩んでください」と児童らを激励。児童会会長の本多萌衣さん(6年)は「思い出が詰まった学校です。これからも大切にしていきたい。どうぞよろしくお願ひします」と児童を代表してあいさつしました。



戸田町長



本多児童会会長



関東校長

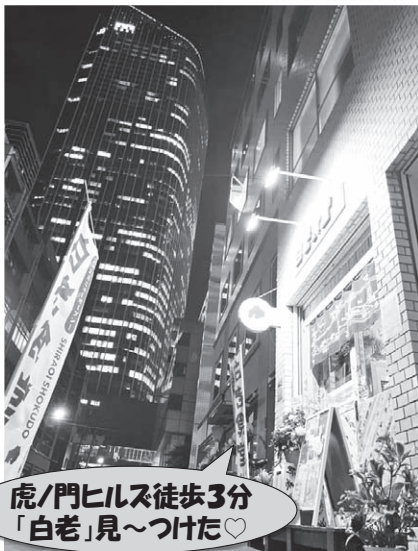


手書きの感謝状で思いを伝える

学校行事や登下校の見守り、勉強のサポート、伝統行事、体力づくりなどで児童を支える地域住民・団体に、「活動を助けてくれてありがとうございます。全員の気持ちを込めて贈ります」と感謝の言葉を述べながら手書きの賞状を手渡しました。



関東校長は「地域の力を借りた特色ある教育は、変化の激しい今、子どもたちにとっても必要な力です」と感謝し、「これからも笑顔で学ぶ学校にしていきたい」と締めくくりました。



東京都港区に「白老食堂」オープン

～町観光大使の栗原靖武さん 白老の食材をふんだんに使った専門店～

町観光大使でイタリア・スペイン料理のオーナーシェフの栗原靖武さん(45)＝株式会社ガウディル代表取締役、日本パエリア協会理事＝が、夢の一つを実現しました。

7年前に本町の町民と出会い、「食の王国白老」を知ったのを機に、本町のイベント参加などでつながりができました。「この町で衝撃を受けた白老牛や虎杖浜のたらこなどの食材を、東京でたくさんの人に発信していきたい」と、同店を東京都港区西新橋2-13-9、虎ノ門ヒルズの近くに今年10月31日に念願のオープンをしました。

パエリア専門店やイタリアン・スパニッシュ料理店を都内や川崎市で手広く展開する栗原さんですが、あえて店名も「白老食堂」とし、魚箱模様の入り口ドアと白老マップののれんをくぐると、16席の店内はちょっとおしゃれな白老の郷土料理店風。前浜のタラコや魚、白老牛、白老の玉子など白老から食材を調達し、腕を振るったメニューが楽しめます。

栗原さんは「インスタにいろいろアップしています。ぜひ食べに来てください」と、都民をはじめ、東京に立ち寄ったついでの白老町民など多くの来店に期待していました。同店連絡先は☎080-9426-6917。